

平成26年度 はまなす学校 中高学年体育（バスケットボール）全体計画



期 日：9月16日・19日・22日・26日

場 所：浜猿弘小学校体育館

児 童：3年生 男子3名 女子2名

4年生 男子3名 女子1名

5年生 男子3名 女子2名

6年生 男子2名 女子2名 計18名

指導者：長江教諭、氏家教諭、高橋教諭、平沼教諭

1 題材 『ボール運動 ～バスケットボール～』

2 題材について

（1）運動の特性

- ・パスやドリブルを使って、集団が協力してシュートをし、得点を競い合うことを楽しむ運動である。
- ・ゲームの様相の発展とともに、ゲームの仕方、反則などのルール面の工夫が行われる運動である。
- ・ボール操作の技術、戦術や作戦の工夫、チームワークやマナー等の育成によりゲームの楽しさを深めることができる運動である。
- ・相手チームと入り交じり合うので、ルールやマナーを守る態度、勝敗に対する正しい態度、チーム内での協力や励まし合う態度などの社会的態度を養うことができる。

（2）題材設定について

近隣複式校3校の集合学習であるはまなす学校の活動の一つとしてはまなす体育を毎年行ってきた。球技では、少人数でチームを編成することも難しい状況から、三校合同で行うことで普通規模の学校の児童と同じように体育の学習に取り組めるようにしてきた。集団での活動を体験させることに重きを置きつつも児童の発達段階に応じてブロックに分かれての活動としている。本題材では、シュートを決めたり、作戦が成功してゲームに勝ったりする中で楽しさを感じさせるとともに、教え合ったり協力したりする活動の中で集団性を身に付けさせたい。

3 全体目標

○はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

○バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

4 全体計画（全7時間）

月日・指導時数	指導目標	メイン指導 (指導案担当)
9月16日（水） 第1・2時	○ボールに慣れ、基本的なバスケットボールの技能を身につけることができる。（パス、ドリブル、シュートなど）	長 江 (長 江)
9月19日（金） 第3・4時	○ボールに慣れ、基本的なバスケットボールの技能を身につけることができる（チーム練習でパス、ドリブル、シュートなど） ○基本的なバスケットボールのルールを知り、簡単なゲームを楽しむことができる。	平 沼 (長 江)
9月22日（月） 第5・6時	○基本的なバスケットボールの技能を身につけることができる ○チームで協力し合いながら、練習やゲームを楽しむことができる。	氏 家 (長 江)
9月26日（金） 第7時	○基本的なバスケットボールの技能を身につけることができる ○チームで作戦を考えながら、練習やゲームを楽しむことができる。	長 江 (長 江)



5 バスケットボール ルール（ポートボールのルール）

○5人1チーム。

○センタージャンプで試合を開始。

○得点は1シュート2点

○得点後は、相手チームがエンドラインの外からのスローインでゲームを再開する。

○サイドラインやエンドラインからボールを出したときは、相手チームのボールとなり、サイドラインの外からのスローインでゲームを再開する。

○トラベリング・ダブルドリブル・危険なプレイがあった場合はファールと見なし、サイドラインの外からのスローインでゲーム再開する。（あきらかなファール以外は、厳しくとらない。）

○両チームの選手が同時にボールに手をかけて取り合いになった場合、その場でジャンプボールとする。

はまなす学校 中・高学年体育科 学習指導案

日時 平成26年9月16日(火)
 場所 浜猿弘小 体育館
 指導者 中・高学年ブロック担当

1 題材名 「ボール運動～バスケットボール」

2 全体目標

○はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

○バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

3 本時の目標

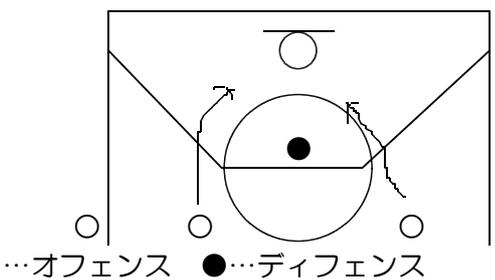
・はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

・バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

4 本時の展開 (1/7時間)

	児童の活動	時間	留意点と先生方の動き
導入	1 あいさつをし、今日の学習のめあてを確認する バスケットボールのパスやドリブル、シュートを覚えよう。	2分	
	2 バスケットボールとは何かを知る 3 ボールを使った準備運動をする (1) ボールハンドリング ・首の周り ・足の周り ・腰の周り ・八の字 ・ボールを上に向けて、1・2でキャッチ (2) ドリブル遊び ・ドリブル鬼ごっこ ・ジグザグドリブル	10分 15分	①頭よりちょっと高く※簡単にトラベリングも ②高く上げて手をなん回たたけるかな ・ドリブルしながら。タッチされたら鬼になる ・先生方がコーンの代わりに立ち、その間をドリブル
展開	3 練習試合をするためのチームをつくる ・リーダーの確認も	7分	A長江 ⑥浜猿 ⑤芦野 ⑤浅茅野 ③浅茅野 ③芦野 B氏家 ⑥浜猿 ⑤浅茅野 ④芦野 ③浜猿 C平沼 ⑥浜猿 ⑤浅茅野 ④浅茅野 ③芦野 D高橋 ⑥浅茅野⑤芦野④浅茅野③浅茅野④芦野
	4 シュート遊びをする ・練習し、どうしたらゴールによく入るようになるか考える ・シュートゲームをする	10分	・コートを2カ所にわけて行う。 ・5・6年生はバスケットゴールを使い、3・4年生はゴールの下にフラフープをつるし、そこをくぐったら点数とする。(1シュート2点) ・制限時間1分間。どこから入れてもよい。順番なし。自分で得点を入れる ①AとBのコート ②CとDのコート ※評価(観察) *Tはゴールしたかどうかの審判
	5 集合・整列し、次時の予告を聞く	1分	

5 本時の展開 (2/7時間)

	児童の活動	時間	留意点と先生方の動き
展 開	1 ボールを使ったパス遊び (1) 2人組でパス ①パスのしあいっこ (両手で) ※できたらチェストパス ②片手で ③山なりボール (2) 2対1 ・オフェンス2人がパスやドリブルをしながらディフェンスを交わしてシュートする。 ・ボールがコートの外に出たり、シュートして入ったら次の2人へ。	10分	・チーム内2人組でパス練習 *人数が足りないところはTが入る。 ・コートは2か所に分けて行う。 AとC、BとD ※簡単にファールも教える ・必ずパスをすること。一人でドリブルしてシュートしないこと。
	2 ゲームをする ・試合をする ・作戦をたてる	20分	 ・各チームの T はゴールしたかどうかの判断やファール等の審判をする。 ※評価 (観察) ①A対C ②B対D ・1試合5分程度 *人数の足りないチームはTが入る。また、得点板を担当する。
整 理	3 集合・整列し、リーダーに感想発表をしてもらう。 4 終わりのあいさつ	5分	

6 評価

- ・はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習することができたか。
- ・バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができたか。

7 準備 バスケットボール、ストップウォッチ、得点板、布テープの名前、紅白帽
ストップウォッチ、笛 (各先生方で持参)

8 バスケットボール ルール (ポートボールのルール)

- 5人1チーム
- センタージャンプで試合を開始
- 得点は1シュート2点
- 得点後は、相手チームがエンドラインの外からのスローインでゲーム再開する。
- サイドラインやエンドラインからボールを出したときは、相手チームのボールとなり、サイドラインの外からのスローインでゲームを再開する。
- トラベリング・ダブルドリブル・危険なプレイがあった場合はファールと見なし、サイドラインの外からのスローインでゲーム再開する。(あきらかにファール以外は、そんなに厳しくとらない。)
- 両チームの選手が同時にボールに手をかけて取り合いになった場合、その場でジャンプボールとする。

はまなす学校 中・高学年体育科 学習指導略案

日 時 平成26年9月19日(金)

場 所 浜猿払小 体育館

指導者 中高プロの先生

1 題材名「ボール運動～バスケットボール」

2 全体目標

○はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

○バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

3 本時の目標

・はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

・バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

4 本時の展開 (3/7時間)

	児 童 の 活 動	時間	留意点と先生方の動き
導 入	1 あいさつをし、今日の学習のめあてを確認する		
	チームの友達と協力して、パスの練習やミニゲームに取り組もう		
	2 ボールを使った準備運動をする (1) ボールハンドリング (2) ドリブル遊び (ドリブルリレー)	1 0 分	A長江 ⑥浜 ⑤芦 ⑤浅 ③浅 ③芦 B氏家 ⑥浜 ⑤浅 ④芦 ③浜 C平沼 ⑥浜 ⑤浅 ④浅 ③芦 D高橋 ⑥浅 ⑤芦 ④浅 ③浅 ④芦
展 開	3 パスの練習をする ①チェストパス ②バウンズパス ・4カ所に分かれてチームごとに練習する	1 5 分	①チェストパス ・両手をまっすぐ、相手の胸に向かって出すようにする。 ・ボールを出したあと、手のひらが外に向くようにする。「前へならえ」にならないように) ②バウンズパス ・ボールを出したあと、手のひらが外に向くようにする。「前へならえ」にならないように) ※評価(観察)
	4 ハーフコートを使ったミニゲームをする	2 0 分	ルールの確認 ・ボールを取られる・点数を入れる・ボールが、もう一方のコートまでとんでいくと攻守交代とする。 ・少なくとも一人一回は、ボールに触れるようにする。 ミニゲームの進行は、 Aコート氏家 Bコート長江

5 本時の展開（4／7時間）

	児童の活動	時間	留意点と先生方の動き
展 開	5 チームごとにミニゲームをやって みて思ったことなどを発表しながら 作戦を考える ・ボールにかたまらない ・相手のいないところでパスをもらう など	1 0 分	・話し合いがスムーズに進むような声かけをする。
	6 もう一度ミニゲームに挑戦する ・最初の作戦を実行する	1 0 分	・コートをついて、残りの2つのチームはミニゲームを見て、どうすれば良いかを考えさせる。 ・メイン以外の先生方も、ゴールの判定やファールなどの審判をする。
	7 もう一度作戦タイム ・他のチームのゲームを見て思ったこと もとりにいれながら作戦を考える	1 0 分	・意見がでないチームには、支援的な声かけをする。
	8 三度目のミニゲーム挑戦 ・作戦を実行する	1 0 分	・今度は2コート、進行役は前と一緒に様子を見ながら対戦相手をチェンジする ※評価（観察）
整 理	9 集合・整列し、リーダーが感想発表をする	5 分	
	10 終わりのあいさつ		

6 評価

- ・はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習することができたか。
- ・バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができたか。

7 準備

バスケットボール得点板（浜猿・芦野各1）布テープの名前と紅白帽（各自）
ストップウォッチと笛（先生方各自）コーン4つ（浜猿弘小）

はまなす学校 中・高学年体育科 学習指導案

日 時 平成26年9月22日 (月)

場 所 浜猿払小 体育館

指導者 中高プロの先生

1 題材名「ボール運動～バスケットボール」

2 全体目標

○はまなす学校の友達と協力して、仲良くゲームや練習をすることができる。

○バスケットボールの基本となる簡単なパスやシュートについて理解し、ルールを守って楽しくゲームや練習をすることができる。

3 本時の目標

- ・試合での攻めと守りの仕方を理解して、ゲームをすることができる。
- ・チームで協力し合いながら、練習やゲームを楽しむことができる。

4 本時の展開 (5/7時間)

	児 童 の 活 動	時間	留意点と先生方の動き
導 入	1 あいさつをし、今日の学習のめあてを確認する		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">攻めと守りを考えたり、チームで作戦を立てたりして、ゲームに取り組もう</div> 2 ボールを使った準備運動をする (1) 簡単な準備体操 (2) ボールハンドリング (3) ドリブルリレー	1 0 分	A長江 ⑥浜 ⑤芦 ⑤浅 ③浅 ③芦 B氏家 ⑥浜 ⑤浅 ④芦 ③浜 C平沼 ⑥浜 ⑤浅 ④浅 ③芦 D高橋 ⑥浅 ⑤芦 ④浅 ③浜 ④芦
展 開	3 3対2の練習 オフェンス3人、ディフェンス2人で攻め、守りを学習する。 4 シュート練習をする ・1分間で何点入れることができるかシュートする(フラフープは1点) ※場所は、どこからでもよい。どんどんシュートする。	2 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールにかたまらない ・パスをもらえる場所を探す ・パスの仕方を考える(バウンドパスもとりにいれる) ・手を上げて邪魔をするなど様子を見て声かけをする。 ・シュートが入ったら得点板に点数を入れる ※評価(観察)

5 本時の展開（6／7時間）

	児童の活動	時間	留意点と先生方の動き
展 開	5 ミニゲームを行う ①身長別チームでミニゲーム 半コートをつかってゲーム ・マンツーマン ・パスの仕方を工夫する	1 0 分	※評価（観察） 作戦タイムの際、アドバイスを する
	②ミニゲームをやってみて作戦タイム		
	③もう一度身長別でチームでミニゲーム	1 0 分	
	6 もとのA～Dチームでミニゲーム を行う ①ミニゲーム ②作戦タイム ③もう一度ミニゲーム	1 0 分	
整 理	7 集合・整列し、リーダーが感想発表をする	5 分	
	8 終わりのあいさつ		

6 評価

- ・試合での攻めと守りの仕方を理解して、ゲームをすることができたか。
- ・チームで協力し合いながら、練習やゲームを楽しむことができたか。

7 準備

バスケットボール得点板（浜猿・芦野各1）布テープの名前と紅白帽（各自）
ストップウォッチと笛（先生方各自）コーン4つ（浜猿払小）